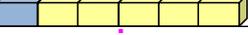


## 商品マスタ改廃時のEOS関連項目注意事項

### ◆EOS自動発注の発注数計算方法概要

例) 商品A  
 発注ロット: 3  
 発注曜日: 月、木

 ...前回発注からの売上累計数

曜日	売上数	発注残高	発注
日曜日	売上 0個	発注ロット	
月曜日	売上 1個		発注なし
火曜日	売上 1個		
水曜日	売上 1個		
木曜日	売上 1個		発注 
金曜日	売上 0個	 発注残として繰越	
土曜日	売上 1個		
日曜日	売上 4個		
月曜日	売上 0個		発注 
火曜日	売上 2個		

### ◆EOS発注における商品マスタ重要項目の説明

【12: EOSFLG】...その商品に対し、EOSそのものを実施するかどうかの判定。

1:EOS対象外

⇒ 発注対象外となり、発注残高の累積は行いません。

2:EOS対象

⇒ 売上データの売上数を基に、発注残高の累積と発注を行います。

※発注残高が存在する状態で、EOSFLGを「1:対象外」に変更すると、  
 該当商品の発注残高が削除されます。

【13: 削除日付】...廃盤となりもう商品として取り扱わない場合に、削除日付に登録。

削除日付を入力した場合

⇒ 入力された時点で商品マスタより論理削除となります。  
 EOSFLGが「2:対象」であった場合でも、発注対象外となり、  
 これまで累積された発注残高データも消える形になります。

※ 入力日付はあくまでも目安日付です。

入力された日付に関係なく、削除日付に入力された時点で削除とみなします。

※ POSのPLUマスタは削除となりませんので、

こちらの削除日付を入力してもPOSで値札を読まなくなることは御座いません。

【14: EOS停止日】...一時欠品時等に利用。EOS発注残高は累積するが、実際に発注を行うかどうかの判定を行う。

EOSFLGが「2:対象」かつ削除日付がblankの場合に機能する項目です。

EOS停止日をblankにした場合

⇒ EOSFLGが「2:対象」であれば、通常通り発注が行われます。

EOS停止日を入力した場合

⇒ 入力日付以降の該当商品のEOS発注は行われません。  
 ※EOSFLGが「2:対象」であれば、発注残高は累積され続けます。

EOS停止日が入力されていたが、その後blankにした場合

⇒ EOSFLGが「2:対象」であれば  
 次回発注日に、EOS停止期間中に累積された発注残高をまとめて発注します。

上記3項目の優先順位をまとめると下記の通りとなります。

**削除日付 > EOSFLG > EOS停止日**